

## 第 3 章

# 計画の推進と進行管理

## 1 計画の推進体制と町民との協働

### (1) 計画の周知

本計画の内容を広く町民に周知・啓発するため、広報やホームページなどを通じて計画の内容を公表します。

また、健康づくりや食育の各種事業やイベント、スポーツイベント、健康診査等の機会を通じて、計画で示す町の方針や今後の取組みなどの PR を図ります。

### (2) 連携と協働

本計画の推進と目標の達成に向けては連携と協働が必要です。

自治会や事業所、ボランティア団体、医師会・歯科医師会・薬剤師会、体育協会、スポーツ少年団など、様々な関係機関や団体とのつながりを持ち、生涯健康でこころ豊かにいきいきと暮らせるまちの実現のため積極的な働きかけをしていきます。

### (3) 推進体制

基本理念の実現に向けて、町民、地域、行政などの果たすべき役割を明確にするとともに、実効性のある推進体制を構築していきます。

地域で活動している団体、住民のボランティア活動組織等は、行政との協働により、住民への健康に関する情報提供や活動を実施し、地域住民の健康づくりを支援するための体制を作ります。

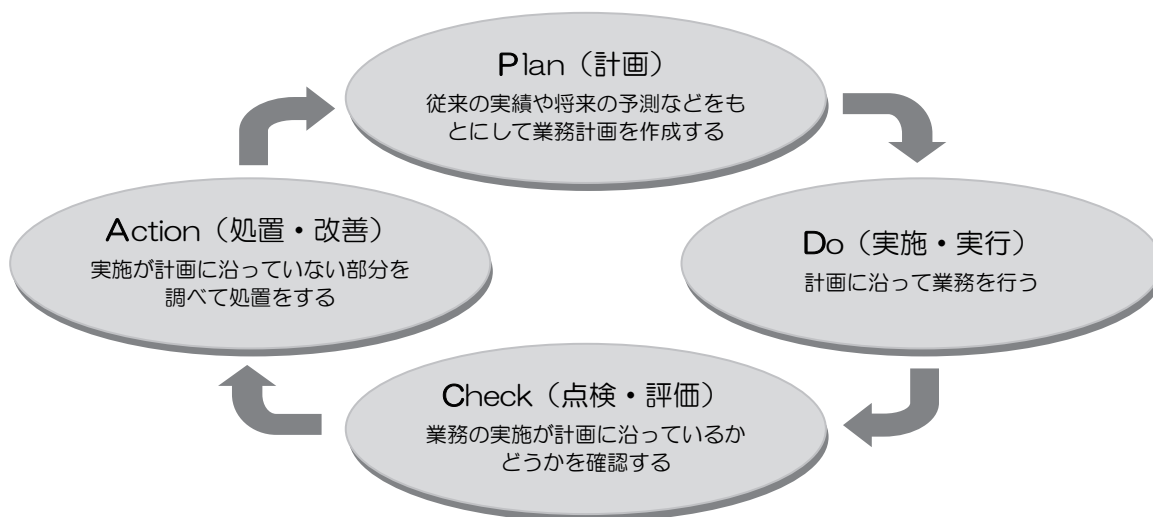
住民の健康づくりを図るため、県・関連団体と連携しながら、必要な情報の提供や質の高い保健サービスの提供に努めます。また、施策を総合的かつ効果的に推進するため、庁内の関係課間の連携や緊密な調整を行い、全庁的な取り組みの充実を図ります。

## 2 計画の進行管理と評価

### (1) 計画の進行管理体制

計画を効果的かつ着実に推進するためには、“PDCAサイクル” [計画 (Plan) → 実施・実行 (Do) → 点検・評価 (Check) → 処置・改善 (Action)] を確立し、継続的に計画の進行管理を実施していく必要があります。

このため、大磯町スポーツ健康会議で定期的に計画の進捗状況について進行管理をしていきます。



### (2) 計画の評価

本計画は、施策分野ごとに評価指標と目標値を設定し、それらの指標が達成できるよう、大磯町スポーツ健康会議において、毎年取組み内容の点検・評価を行っていきます。

また、計画の最終年度である平成 33 年度に最終評価を行い、設定した目標の達成状況を把握し、次に目指していくべき方向性を見出していきます。

本町を取り巻く環境等の大きな変化が生じた場合には、評価年度にかかわらず、必要に応じて見直しを行います。